



## 学校教育目標「自立・協働・創造」～ ジョン万スピリットで未来を切り拓く！～

### ◎「令和6年度卒業証書授与」式無事終了

温かな陽射しの中、本年度の卒業証書授与式を、来賓及び保護者の皆様の参列を得て開催することができ、無事56名の生徒が清水中学校を巣立っていきました。保護者の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様よりいただきましたたくさんのご支援に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



#### < 式辞 >

大岐の国道沿いに広がる菜の花畑が黄色く色づき、風に揺れながら、春の訪れを知らせてくれています。その中に置かれたピンク色の扉が、卒業生のみなさんの新たな未来につながっているように思えて、いとおしく眺めながら、今日を迎えました。

本日、この佳き日に、土佐清水市教育委員会 斧川教育長様を始めとする来賓の皆様方、そして卒業生のご家族の皆様のご臨席を得て、令和6年度 土佐清水市立清水中学校卒業証書授与式を挙げていきますことに、心より御礼申し上げます。

保護者の皆様、お子様の義務教育9年間からのご卒業を心よりお祝い申し上げます。思春期を迎え、様々な悩みや葛藤に揺れ動く多感な時期を、お子様の成長を温かく見守り続けながら、ともに乗り越えて来られたことに対し敬意を表します。また、地域の皆様には、いつも子どもたちを見守っていただき、温かいご声援をいただきました。保護者の皆様、地域の皆様からいただきました本校の教育活動に対するご理解と、多くのご支援に対しまして、この場をお借りして、改めて感謝申し上げます。

さて、56名の卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。清水中学校全職員、そして在校生とともに心よりお祝い申し上げます。この学び舎を旅立つ日を迎えられたみなさんの姿を見ながら、みなさんとの思い出の日々を振り返ってみますと、身も心も、本当に大きく成長されたなど、感動で胸が熱くなります。

思い返せば、3年前、私は入学するみなさんといっしょに、この清水中学校にやってきました。1年生の頃のみなさんは、些細なことでぶつかり合い、トラブルに発展してしまうことも多くありましたね。担任の先生たちが毎日のように、昼休みや放課後、みなさんの中のだれかと話をしていたように思います。一人一人、感じ方や思いはさまざままで、理解し合うことは難しかったかもしれませんが、それでもみなさんは、先生たちといっしょに、一つ一つ解決しながら歩んできてくれました。そして、今、違いを認め合い、何事にも力を合わせて取り組むことができる集団へと成長してくれたことを、心から嬉しく思います。

9月に行われた体育祭は、「体育祭で【勝ち・価値】を掴み取れ～ゴールのその先へ～」をスローガンに、3年生が中心となって、盛り上げてくれました。このスローガンには、勝負に勝つことだけが目的ではなく、仲間とともに力を尽くすことにこそ「価値」があるのだという強い思いが

込められていました。結果が発表された瞬間、多くの3年生の目に、涙が輝いていました。それは、仲間とともに、一生懸命取り組んできた人にしか流せない涙だと思いました。そして、体育祭が終わった後に撮影した集合写真に、緑組と黄色組が、清々しい笑顔でいっしょに写っているのを見て、なんて素晴らしい集団なんだと、誇らしく思ったことでした。

10月に行われた文化祭でも、3年生の活躍が光っていましたね。自主発表では男女仲良く、かわいらしい演出でダンスを踊り、見る人の心を温かくしてくれました。そして、合唱コンクールでこの体育館に響き渡った歌声は、美しく、力強く、聴く人に感動を与えてくれました。あのハーモニーは、互いに信頼していなければ創り出せないと思います。審査をしながら、私は、みなさんがスローガン通り、かけがえのない「価値」を掴み取っていると感じ、本当に嬉しかったです。

そして、もう一つ、みなさんにお礼を言いたいことがあります。それは、みなさんが先生たちを巻き込んで、行事を盛り上げようと提案してくれたことです。体育祭や文化祭に先生たちも参加し、ともに感動を味わうことができました。生徒会を中心として、3年生がより良い行事を創ろうと主体的に考え、取り組んだからこそ、実現できたことだと感謝しています。先生たちに勇気を与え、支えてくれて、本当にありがとうございました。

これからみなさんが歩み出そうとしている社会は、日々目まぐるしく進化し、予測不能であると言われています。少子高齢化、地球温暖化、南海トラフ巨大地震、・・・様々な課題を、多様な他者と力を合わせ、解決していかなければなりません。その過程において、生成AIという人工知能の活用は、もはや避けて通ることはできず、人間の活躍の場の多くを奪ってしまうかもしれません。

しかし、そんなことを嘆いていても、しかたありません。困難という行く手を阻む壁に直面した時こそ、自分の力が伸びる時だと、前向きにとらえることを忘れないでください。この清水中学校で、みなさんは、いつもジョン万スピリットを胸に、あらゆる課題に立ち向かってきたのですから。「中高生みらい議会」での提言は、まさにその象徴でした。会場では厳しいご意見もいただきましたが、みなさんの提案のすばらしさを認め、つながってくれる人も現れました。みなさんの、ふるさとを思う気持ちが、大人を動かしたのです。

AIに負けることなく、自分の考えをしっかりと持って、そして、「自分」を信じて、人生という道を歩んでいってください。みなさんのことを見てくれている人が、必ずいます。支えてくれる家族や、地域の人たち、私たち教職員も、ずっとみなさんを応援しています。

道に迷い、悩み、くじけそうになったとき、そして、自分の原点に立ち返りたいと思ったとき、いつでも清水中学校に帰ってきてください。

卒業生のみなさんの門出にあたり、今後のますますの成長と活躍を心から願い、式辞といたします。

令和7年3月12日 土佐清水市立清水中学校長 門田 直子